

NPT再検討会議・ニューヨーク行動 日本原水協代表団ニュース (第1号)

募集しています！

英語が堪能な人
新聞・機関紙編集経験者
写真・ビデオ撮影が得意な人

NPT代表団事務局まで。
TEL 03-5842-6031
FAX 03-5842-6033

代表団のみなさんへ

核不拡散条約（NPT）再検討会議の開会まで、あと1ヵ月余りとなりました。私たちの代表団は、核戦争の惨禍を体験した被爆国民の代表団として、1200万の署名を提出する大事な任務を果たしてきます。3月16日には、その第一陣として400万筆、152箱の署名を船で送り出しました。一人でも多くの国民が核兵器廃絶の気持ちを代表団に託してくれるよう、署名に全力を挙げましょう。

1500人の原水協代表は、一人ひとりが以下の3つの大事な役割を持っています。

第1は、署名の提出です。日本原水協では、世界のNGOと協力して、NPT再検討会議に署名を受理してくれるよう依頼しています。署名は、5月2日・ニューヨーク大行進の際、会議が開かれる国連本部の前に積み上げます。日曜日ですが、各国政府にもアメリカと世界のマスコミにも、もちろん各国の平和運動やニューヨーク市民にも参加を呼びかけています。ここでは、署名を持参する一人ひとりが主役です。これまで集めた署名は一筆も無駄にしません。

第2は、NPT会議を傍聴し、会議に出席する各国政府代表に要請や激励をおこない、あるいは講演や話を聞いて政府、公的機関、NGO、草の根の平和運動との連帯を広げることです。たくさんの政府代表部に面会を要請しています。要請に加われない人も、話を聞けるよう、原水協全体の団会議を始め、さまざまなところで政府やNGO代表の出席を要請しています。

第3は、アメリカと世界の平和運動やさまざまな階層、分野の運動と交流し、また、ニューヨーク市民に原爆被害を知らせ、「核兵器のない世界を」の世論を大いに広げることです。アメリカは世界最大の核保有国ですが、他方で、ベトナム反戦やイラク反戦など、平和のために勇敢に行動している市民のいる国でもあります。そういう国で、被爆の実相を知らせ、あるいは沖縄や横須賀、佐世保などの実態を知らせれば、大きな共感を発展させることができます。

もうひとつ、忘れてならないことは、今度の行動に参加する100人の被爆者を助け、被爆の実相を学び、広めることです。そのほかにもできることはたくさんあります。すばらしい平和の活動をする全国の仲間から直接話を聞き、友だちになるチャンスでもあります。この機会に英語をものにしようという秘めたる挑戦ももちろんアリです。どれをやるにも、元手は健康です。5月のアメリカは日本とは13時間時差。ちょうど、昼と夜がひっくり返ります。いまからしっかり体調を整えておきましょう。

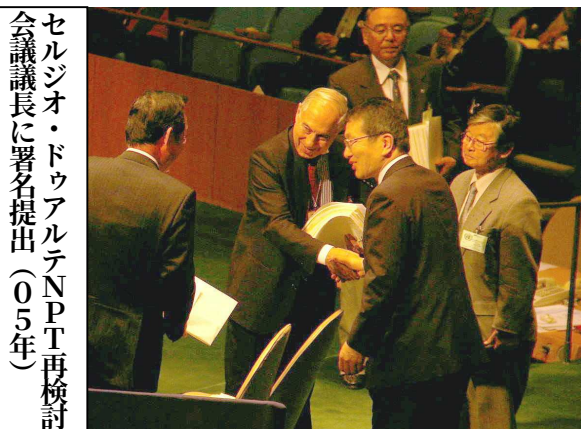
NPTニューヨーク行動全体スケジュール

時間	4月30日(金)	5月1日(土)	5月2日(日)	5月3日(月)	5月4日(火)
9:00	ニューヨーク 市内観光	ニューヨーク 市内観光		ニューヨーク 市内観光	医療・福祉関係者のつどい (SEIU講堂)
10:00	フリータイム 午前	フリータイム 午前	班ごとの行動 (全員参加) 署名行動など 9:30-14:00	フリータイム 午前	9:30-11:30 フリータイム 午前
11:00					
12:00					
13:00	市内署名行動(A・Bコースの全員が参加)	国際平和会議分科会(午後)代表参加		NPT再検討会議開会 各国政府代表部への要請行動(代表参加)	教職員交流集会 (SEIUベントハウス) 12:30-14:00
14:00		※国際平和会議は代表参加のため、会議参加者以外は組・班での市内署名行動にとりくみます。うたごえ代表団もマンハッタンでの署名行動を計画しています。	核兵器のない世界のための国際行動デー署名提出行動タイムスクエア周辺集合、集会(全員参加) 14:00～	ピースコンサート(予定)	核兵器のない世界を女性の交流会inニューヨーク (SEIU講堂) 13:00-15:00
15:00					自治体労働者のつどいinニューヨーク (SEIUベントハウス) 14:00-15:20
16:00					
17:00	国際平和会議 (代表参加) リバーサイド チャーチ	国際平和会議全体会 (代表参加) リバーサイド チャーチ	フェスティバル(全員参加) ハマーショルド 広場 16:00-17:30	公開シンポジウム (核兵器禁止・廃絶のプロセスをいかに踏み出すかー政府代表と平和運動の対話(代表団会議・全員参加) リバーサイド チャーチ	NPT再検討会議の傍聴、各国政府代表部への要請(代表参加) 午前、午後 15:30-18:00
18:00					
19:00					

代表団のみなさんは、上記オレンジ色の部分に全員参加してください。5月2日のパレードには、千羽鶴や風船、うちわなど、色とりどりのグッズを持ってアピールしましょう。黄色の部分は、グループごとにマンハッタン各地（街頭や駅、ショッピングモール、学校、カフェなど）で署名行動を行いましょう。ピンク色の部分は代表参加となります。

♪アナウンス♪

- 緑色のニューヨーク市内観光部分については、別途ご案内さしあげます。
- 日通旅行社から出発の2週間前(4月中旬)に最終の旅行準備案内が送られます。
- 旅行に関する問い合わせはお気軽に日通旅行社まで。



セルジオ・ドウアルテNPT再検討会議議長に署名提出(05年)



400万超の署名は船に積み込み足早くニューヨークへ(3/16)

5月2日マンハッタンパレードで、NY市民に 核兵器廃絶をアピールしよう！

“A Nuclear Weapon-Free, Peaceful and Just World”
核兵器のない平和で公正な世界を



東京代表団は祓ファッション



手書きで署名を訴える参加者（05年
ニューヨーク・マンハッタン）



長野の米山さんは教え子の折鶴
をもって参加！



愛知代表団は
オレンジフラッグ



NPT って？

NPT は核不拡散条約の略称。1960年代にアメリカ、イギリス、ソ連（現ロシア）が交渉し、1970年に発効しました。全文 11 条。1967 年 1 月 1 日までに核兵器を開発した国を「核兵器国」、それ以外を「非核兵器国」と呼び、「非核兵器国」が核兵器を開発、保有することを禁止した条約。交渉の過程で、多くの批判をよび、「核兵器国」も、核軍備競争の終結、核軍縮・廃絶の措置、全面完全軍縮の条約について交渉する義務を負うことになりました（第 6 条）。

1998 年 5 月のインド、パキスタンの核実験を機に、核保有国が核の特権を振りかざしている限り、核拡散は止まらないという批判が広がり、2000 年 5 月の再検討会議では、核兵器国も、「自国の核兵器を完全に廃絶すること」を「明確な約束」として受け入れざるを得なくなりました。

現在、締約国は 189 カ国。加盟していない国はイスラエル、インド、パキスタン、北朝鮮の 4 カ国。圧倒的多数の国々は、核兵器の廃絶に賛成しており、昨年 12 月の国連総会では、核兵器禁止条約の交渉開始を呼びかけたマレーシアの提案に、124 の国々が賛成しました。このうち核兵器国では中国が、そのほかにもインド、パキスタン、北朝鮮が賛成しています。2010 年の NPT 再検討会議の最大の焦点は、核兵器禁止の合意にどれだけ接近できるか、どれだけ多数の国が真剣に核兵器廃絶を主張するか、それに対する核兵器国や日本政府の対応はどうか、などです。

ニューヨーク行動とは？

2009 年 5 月 9 日、NPT 再検討会議第 3 回準備委員会の際にニューヨークで開催された世界の反核平和団体のネットワーク「廃絶 2000」の総会で、日本原水協の代表が提唱しました。内容は、①2009 年秋、国連総会で核兵器禁止の合意を広げるため、すべての国の政府に働きかけること、②NPT 再検討会議の前日、2010 年 5 月 2 日を「核兵器のない世界のための国際行動デー」とし、ニューヨークで大行進をおこなうこと、③核兵器の禁止を共通の要求とする世界の署名の共同提出をおこなうこと、④NPT の際、ニューヨークに集う若者の行動を支援すること、の 4 つです。提案はコンセンサス（全会一致）で採択されました。

ことし 2 月 15 日、イラク反戦世界行動 7 周年を記念して、世界 250 の NGO があらためてニューヨーク行動の呼びかけを出しました。その共通のテーマは「核兵器廃絶の交渉を直ちに開始する」ことをよびかける世界的キャンペーンの発足です。

4 月 30 日、5 月 1 日にニューヨーク・リバーサイド教会で開かれる国際平和会議、5 月 2 日のニューヨーク大行進、署名提出は、この提案と呼びかけに基づくものです。

ノーモア・ヒロシマ！ ノーモア・ナガサキ！
No more Hiroshimas! No more Nagasakis!
核兵器反対！
No to Nuclear Weapons!
いま、核兵器の廃絶を！
Abolition of Nuclear Weapons, Now!